

# 平成28年度近代美術館活動の評価結果

平成29年6月6日  
群馬県立近代美術館

## 1 評価の位置付け及び目的

本評価は、「群馬県文化審議会」に設置されている「群馬県立美術館・博物館運営検討部会」において決定された指標を用いた内部評価であり、本評価結果を、これからの美術館活動の改善や充実につなげていくためのものです。

## 2 評価方法等

### (1) 評価指標等

評価指標等については、「群馬県立美術館・博物館運営検討部会」において審議のうえ、指標及び目標値等の設定を行いました。

### (2) 評価作業

集計数値やアンケート結果等をもとに、平成28年度実績について取りまとめを行い、その内容を当館の内部会議に諮ったうえで自己評価とする方法を採用しました。

### (3) 結果の公表

自己評価結果については全職員にフィードバックし、業務改善につなげるとともに、当館ホームページ上に公開することで県立施設としての説明責任を果たします。

## 3 自己評価結果

### (1) 展示活動について

平成28年度は、約1,900点の所蔵作品の中から、長期的な計画に基づきテーマを設定して、コレクション展示として公開するとともに、県民の多様なニーズに対応するため、4回の企画展示を行いました。

入館者数については92,273人となり、目標である80,000人を上回る結果となりましたが、来館者の満足度については87%となり、目標である95%を8ポイント下回りました。

一方で、コレクション展示及び企画展示の内容や時期、わかりやすさ等については、観覧者から高い評価(5段階の4)を得ることができたため、今後も、たくさんの県民の皆様に来館していただけるような展示を行い、広く親しまれる美術館づくりに取り組みます。

### (2) 教育普及活動について

美術館は感動を体験し、豊かなこころを育てる場所であるといえますが、それは決

して大人たちだけのものではなく、感受性豊かな子どもたちにとっても必要な場所です。当館ではこうした観点から、学校教育との連携を深めるとともに、様々な事業を行いました。

平成28年度の教育普及活動の参加者数は16,345人となり、目標である12,000人を上回る結果となりました。また、学校受入校数は57校(目標55校)、出張授業校数は17校(目標10校)となり、それぞれ目標を上回りました。

また、ミュージアム・スクール等の各種イベントや教員研修会を開催し、イベント参加者からは満足度90%(目標70%)といった高い評価を得ることができました。

### (3) 調査研究活動について

美術館で開催する企画展示の充実や、新たな作品を収集するためには、美術作品に関する基本情報を収集・整理したうえで、より深く理解するための調査研究が不可欠となります。

そのため、研究会・研修会・企画検討会等へ参加するとともに、所蔵作品や企画展示に関する研究成果については、展覧会図録に収録される解説や論文、美術館ニュース等を通じて発表・紹介を行いました。

その結果、平成28年度においては、調査研究活動に関する4項目全てについて、目標を上回りました。

### (4) 美術作品の保存管理について

美術作品には、過去の貴重な芸術文化や、将来失われるかもしれない時代の精神などを目に見える形で表現し、現代の私たちに伝えてくれるものとして、かけがえのない価値があります。

そのため、展示室や収蔵庫の美術作品については、常に温湿度等の収蔵環境の管理や、保管状態のチェックを行いましたが、平成28年度には、収蔵庫の上階に設置された空調機械室で漏水が発生し、直下の収蔵庫に保管されていた寄託作品1点を損傷するという事故が発生しました。

今回の案件を反省し、今後このような事故が発生しないよう施設整備を進めるとともに、収蔵庫等の定期的な点検を徹底します。

### (5) 周知活動について

県民の皆様には企画展示や各種イベントの情報を周知し、たくさんの皆様に来館していただくためには、各種メディアへの時宜を得た情報提供や、わかりやすく親しみやすい広報物の作成・配布を行うことが必要です。

平成28年度は、内容や表現が適切な広報物となるよう、複数のスタッフが連携して確認したうえで、メディアへの情報提供を20回(目標20回)行いました。

なお、タイムリーな広報を計画どおり実施できたかについては 60 % (目標 70 %) という結果であったため、よりの確なタイミングで計画的な周知活動を行うことが今後の課題です。

## (6) その他

来館していただいた県民の皆様に、快適な環境で気持ちよく美術作品を鑑賞していただくためには、スタッフの親切・丁寧な対応が不可欠であるといえます。

また当館では、来館者の皆様の多様なニーズに対応するため、小さな子ども連れでも気がねなく美術鑑賞ができる優先時間帯(ファミリータイム)を設けたり、子ども向け絵本コーナー(えほんの森)を設置するなど、未就学児とその保護者の方が、美術館に足を運ぶきっかけを作っています。

こうした取り組みが来館者の皆様に評価され、平成28年度の評価結果は「5段階の5」となりました。

※ 評価指標、目標、自己評価結果の詳細については、「平成28年度 群馬県立近代美術館自己評価結果」をご覧ください。

# ○平成28年度 群馬県立近代美術館自己評価結果

## 近代美術館の使命

◆群馬県立近代美術館は、優れた芸術作品の展示と幅広い美術館活動により、美術に関する県民の知識と教養の向上を図り、県民文化の振興に寄与します。

	成果指標	判断基準	評価レベル	28年度目標	28年度結果
■主要項目(県立5館共通)	入館者数	当該年度の目標を達成しているか	実績値	80,000人	92,273人
	教育普及活動 参加者数	当該年度の目標を達成しているか	実績値	12,000人	16,345人
	教育普及活動 学校受入校数	当該年度の目標を達成しているか	実績値	55校	57校
	教育普及活動 出張授業校数	当該年度の目標を達成しているか	実績値	10校	17校
	来館者の満足度	展示内容について来館者の満足が得られているか	集計値	95%	87%
	活動指標	判断基準	評価レベル	28年度目標	28年度結果
1 展示活動について	来館者の満足度	展示内容について来館者の満足が得られているか	集計値	95%	87%
	企画展示の多様性	ターゲットと考えている層がより多く観覧したか(比率が平均より高いか)	高・低	高い	高い
	コレクション展示の内容	コレクションの概要と質をよく伝えているか	5段階	5段階の4	5段階の4
	作成した図録の内容	展覧会の内容説明と出品作品リストの要素がそろっているか	実績値	テキスト+リスト	テキスト+リスト
	企画展示の内容、時期	内容に新しさはあるか、時期は適切か	5段階	5段階の4	5段階の4
	展示の流れのわかりやすさ	導線は良いか、順路表示は適切か	5段階	5段階の4	5段階の4
	展示のボリューム、休憩場所の設置	展示のボリューム、休憩場所等の設置は適切か	集計値	80%	77%
	企画展示ごとの解説会の実施	企画展示ごとに2回以上開催しているか	実績値	6回	9回
2 教育普及活動について	教員研修会の内容の理解率	参加者が理解できたか	集計値	70%が理解	80%
	イベント参加者満足度	参加者の満足が得られているか	集計値	70%	90%
	スクールプログラム実施校満足度	実施校の満足度が得られているか	集計値	80%が満足	80%
	普及印刷物の見やすさ、伝わりやすさ	アンケート等で来館者の高い評価が得られているか	集計値	5段階の4	5段階の4
3 調査研究活動について	調査研究の回数	当該年度の目標を達成しているか	実績値	10回	20回
	研究会・研修会・企画検討会への参加回数	当該年度の目標を達成しているか	実績値	3回	4回
	研究成果の発表実績	当該年度の目標を達成しているか	実績値	3回	4回
	作品・作家に関するデータ蓄積	当該年度の目標を達成しているか	実績値	10件	30件
4 作品の保存管理について	収蔵庫内の作品管理状況	計画どおりに実施できているか	実績値	安全な環境に保管	収蔵庫内は安全適切に管理したが、環境変化からの漏水による作品1点の被害あり
	作品修復の実績	当該年度の目標を達成しているか	実績値	1件以上	3件
	専門家による作品の状態調査の実施	当該年度の目標を達成しているか	実績値	1回以上	1回
	適切な作品貸出し管理	当該年度の目標を達成しているか	実績値	100%	100%
5 周知活動について	メディアへの情報提供件数	当該年度の目標を達成しているか	実績値	20回	20回
	広報物の内容・表現の適切さ	複数の職員が内容の検討・確認をしているか	実績値	複数スタッフが確認	複数スタッフが確認
	タイムリーな広報	計画どおりに実施できているか(計画どおりにできた比率)	集計値	70%	60%
6 その他	スタッフの対応	来館者に対する親切・丁寧な対応ができているか	5段階	5段階の5	5段階の5